

Kansai Economic Insight Monthly

2015/10/22

Vol.30 September/October

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第3週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady（各APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	11
Release Calendar	12

要旨

- ✓ 8月の鉱工業生産指数は3カ月ぶりの下落。7-8月平均を4-6月期平均と比較すれば、-5.4%と大幅なマイナス。今後の中国経済の動向を考えれば、生産動向は楽観視できない。
- ✓ 9月の貿易は、輸出が31カ月連続の前年比増加。輸入は2カ月ぶりの減少。結果、貿易収支は7カ月連続の黒字となった。
- ✓ 9月の消費者態度指数は2カ月ぶりに前月から悪化、景気ウォッチャー調査も3カ月連続で悪化が続いている。先行き見通しDIは上昇しているものの、中国経済情勢への懸念も見られる。
- ✓ 6月の関西2府4県の現金給与総額は2カ月ぶりのマイナス。7月の「関西コア」賃金指数は4カ月ぶりのプラスとなったものの、今後賃金回復の動きが定着するか見極めが難しい。
- ✓ 8月の大型小売店販売額は5カ月連続の前年比プラス。
- ✓ 8月の新設住宅着工戸数は4カ月ぶりの小幅マイナス。貸家の減少が響いた。9月関西のマンション契約率は7カ月ぶりに70%を割り込んだ。
- ✓ 8月の有効求人倍率と新規求人倍率はともに上昇。失業率は前月から上昇し、5カ月連続の悪化となったが、新規求職の動きを反映した労働力人口の増加がみられ、雇用情勢は堅調が続いている。
- ✓ 9月の公共工事請負金額は3カ月連続で2桁の前年比減。季節調整値も3カ月連続の前月比マイナス。8月の建設工事はプラスだが、公共工事の停滞が響き、伸びは微増にとどまった。
- ✓ 9月の関空への訪日外客数は、最近の歴史的な水準からは幾分減少した。訪日外客数を地域別にみると、7月は中国、韓国、台湾、香港からの訪日外客数が歴史的な水準となった。
- ✓ 中国9月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は前月から幾分上昇したが、依然として50を下回る水準が続いている。中国経済への下方圧力は今後も続くと思われる。

【関西経済のトレンド】

	2014年				2015年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産	↑	↑	↓	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↑	→	↓	
貿易	→	↑	→	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
センチメント	↓	↓	↓	↑	↑	↑	↑	→	↓	↑	↓	↓	↓
消費	↑	↑	↑	↑	→	↑	↓	↑	↑	→	↑	↑	
住宅	↓	↓	↓	↓	↓	↓	→	↓	↑	↑	→	→	
雇用	→	↑	↑	↑	→	→	→	↑	↑	→	↑	↑	
公共工事	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↓
中国	↑	→	↓	↓	↓	→	↓	↓	→	→	→	↓	→

【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

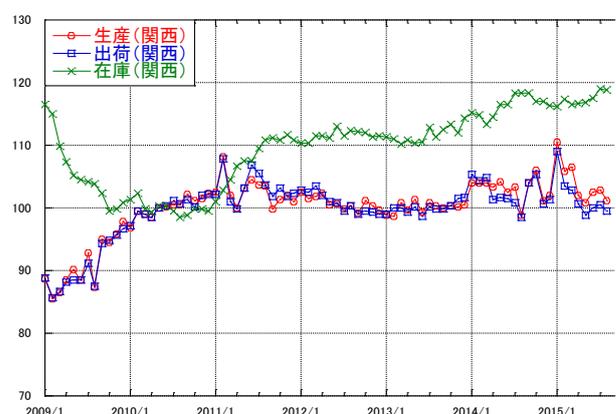
8月の鉱工業指数(速報値：季節調整済)を見ると、生産は101.2で前月比-1.6%、出荷は99.6で同-0.9%といずれも3カ月ぶりの下落、在庫は118.8で同-0.2%と5カ月ぶりの下落となった。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(同-7.3%, 2カ月連続)、金属製品(同-14.0%, 2カ月ぶり)、化学(除. 医薬品)(同-2.8%, 5カ月ぶり)等が減産となった。一方、電子部品・デバイス(同+6.8%, 2カ月連続)、電気機械(同+3.2%, 3カ月ぶり)、プラスチック製品(同+6.0%, 2カ月ぶり)等が上昇した。

生産、出荷は減少、在庫は減少するも依然高水準にある。8月以降の中国経済の動向を考えれば、生産の動向は楽観視

できない。実際、7-8月平均の生産指数を4-6月期平均と比較すれば、-5.4%と大幅なマイナスとなっている。

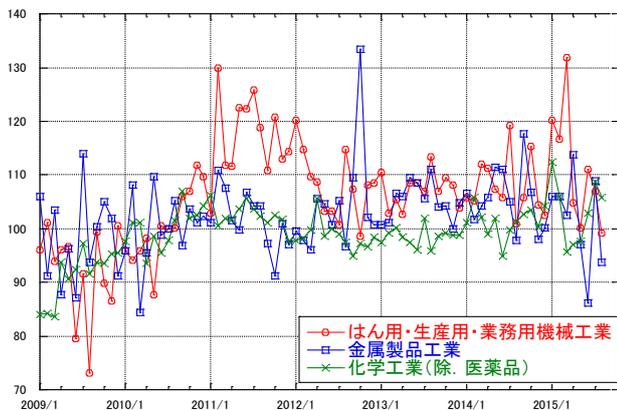
鉱工業指数の推移(関西：2015年8月まで、平成22年=100)



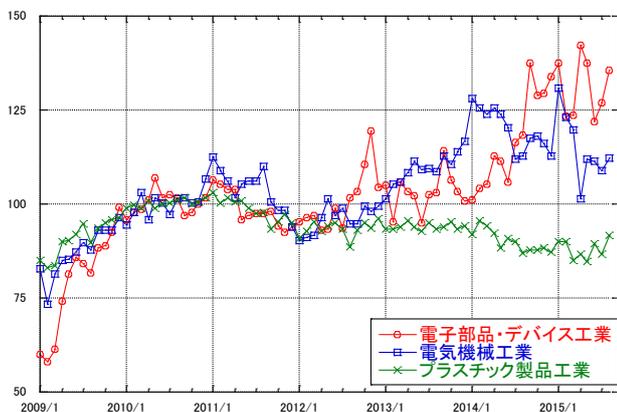
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2015年8月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移(続き)



(注) 福井県を含む。

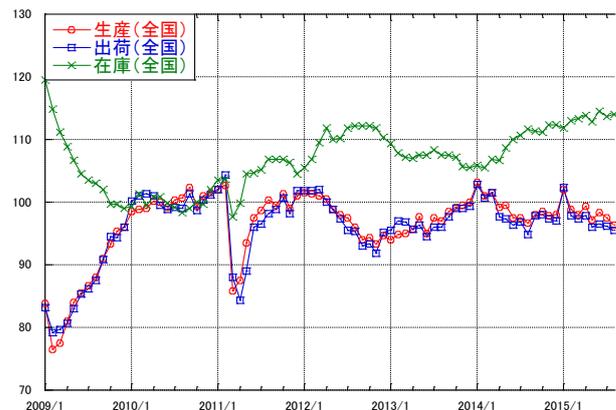
(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

(2) 全国の生産動向

全国における8月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は96.3となり前月比-1.2%、出荷は95.5で同-0.7%といずれも2カ月連続の下落。在庫は114.0で同+0.3%と2カ月ぶりの上昇となった。なお、速報値では生産指数は同-0.5%となっており、確報値では大幅な下方修正となった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(同-3.1%)、輸送機械(同-1.2%)、電気機械(同-3.3%)等を中心に減産となった。一方、石油・石炭製品(同+3.7%)、繊維(同+1.0%)、鉄鋼(同+0.1%)等は増産となった。

鉱工業指数の推移(全国：2015年8月まで、平成22年=100)



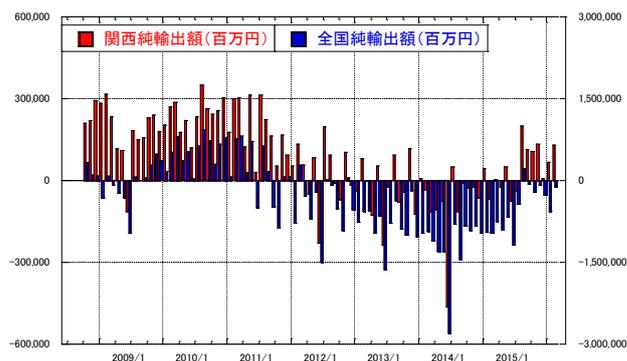
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、9月関西の貿易収支は+1,290億円と7カ月連続の黒字となった。黒字幅は前年同月から1,962億円改善した。全国の貿易収支(速報値)は-1,145億円と6カ月連続の赤字となったものの、赤字幅は前年同月から-88.1%縮小した。全国では、依然、貿易収支が黒字であった3月を除いて、2015年は赤字幅の大幅減が続いている。

貿易収支(百万円)：関西(左軸)・全国(右軸)推移(2015年9月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

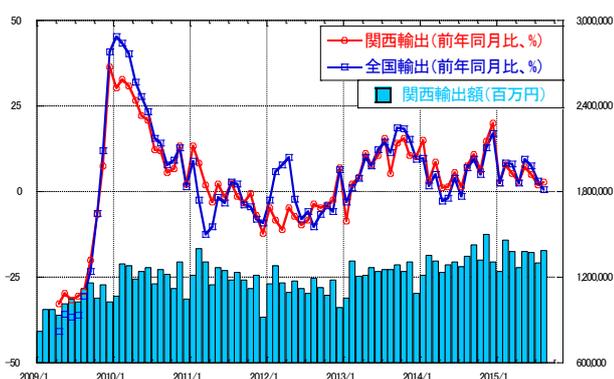
(2) 輸出

関西9月の輸出額(速報値)は1兆3,866億円。前年同月比+2.8%と31カ月連続の増加。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、通信機(過去最高額)、半導体等電子部品(過去最高額)であった。一方、有機化合物、鉄鋼は減少となった。

全国9月の輸出額(速報値)は6兆4,174億円となり、前年同月比+0.6%と13カ月連続の増加。財別に見れば、自動車、半導体等電子部品、通信機等の輸出が増加した。

なお、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は120.92円と前年同月比15.2%の円安であった。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2015年9月まで)



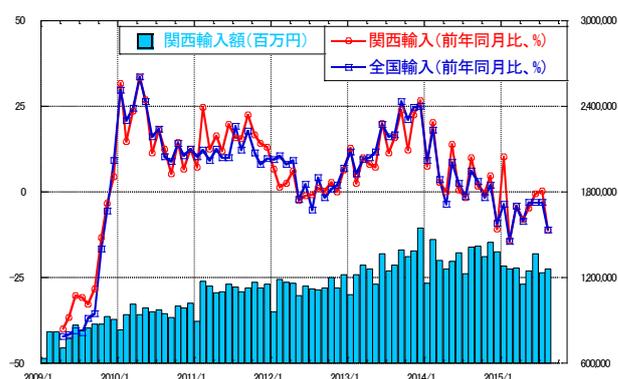
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西9月の輸入額(速報値)は1兆2,577億円、伸びは前年同月比-11.2%と2カ月ぶりの減少。財別に見れば、原油及び粗油、通信機が減少した。一方、衣類及び同付属品(過去最高額)、音響・映像機器(含部品)は増加となった。

全国9月の輸入額(速報値)は6兆5,318億円、前年同月比-11.1%と9カ月連続の減少。財別に見れば、引き続き、原油、液化天然ガス、石油製品等の輸入が減少している。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2015年9月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西9月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,746億円となり、20カ月連続の黒字。黒字幅は前年同月比+105.9%と、3カ月ぶりに拡大した。輸出は13カ月連続で増加(同+3.1%)。財別に見れば、通信機、半導体等電子部品等が増加した。輸入は4カ月ぶりのマイナス(同-7.5%)。財別に見ると、通信機、がん具及び遊戯用具等が減少した。

うち、対中貿易収支は-1,141億円と43カ月連続の赤字も、赤字幅は3カ月ぶりに前年同月から縮小した(同-30.3%)。輸出は3カ月ぶりの増加(同+1.7%)。一方、輸入は5カ月連続の減少(同-9.0%)となった。

対米貿易収支は+820億円と黒字基調が続いており、黒字幅は13カ月連続で前年から拡大した(同+12.0%)。うち、輸出は16カ月連続の増加(同+9.5%)。財別に見れば、電池、医薬品等が増加した。輸入は2カ月連続の増加(同+7.6%)であり、財別に見れば、半導体等製造装置、科学光学機器等が増加した。

対EU貿易収支は+114億円と4カ月ぶりの黒字となり、貿易収支は前年同月から319億円改善した。うち、輸出は2カ月ぶりに増加(同+2.4%)した。財別に見れば、事務用機器、建設用・鉱山用機械等が増加した。輸入は3カ月ぶりの減少

(同-19.6%)。財別に見れば、医薬品、半導体等製造装置等が減少した。

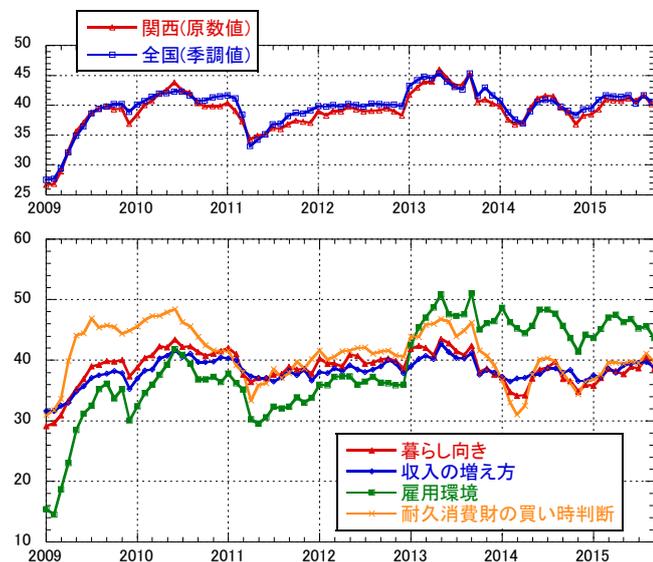
【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の9月の消費者態度指数(原数値)は前月比-1.5ポイントの40.2と、2カ月ぶりに悪化した。全国(季節調整値)でも同-1.1ポイントの40.6とこちらも2カ月ぶりの悪化。中国経済の減速による株価急落や、食料品など身の回り品の高値などが影響したとみられる。

関西で同指数の構成項目をみると、9月は4つの意識指標全てが前月から悪化した。「雇用環境」が同-1.9ポイント、「暮らし向き」は同-1.8ポイント、「耐久消費財の買い時判断」は同-1.4ポイントと、いずれも2カ月ぶりの下落。「収入の増え方」も-0.8ポイント低下し、5カ月ぶりの下落となった。

消費者態度指数(2015年9月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」

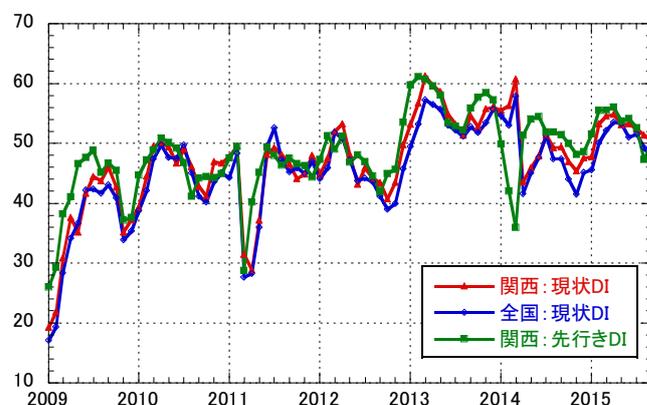
(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の9月の現状判断DIは前月比-0.9ポイント低下の50.5となり、3カ月連続の悪化。月前半の気温が低いことに

よる季節商品の売上不振や、雨天による客足の減少、中国経済減速が株価下落を招き、マインド面に悪影響が出たことなどが寄与した。全国は同-1.8ポイント低下し47.5となり、2カ月連続の悪化。景況感の良し悪しの分かれ目となる50を2カ月連続で下回った。

先行き判断DIは、関西では49.9と前月比+2.6ポイント上昇し、3カ月ぶりの上昇となったものの、2カ月連続で50を下回っている。プレミアム商品券や年末に向けた景気の盛り上がりの期待が先行き見通しを押し上げている一方で、引き続き中国経済情勢への懸念も見られる。

景気ウォッチャー調査(2015年9月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

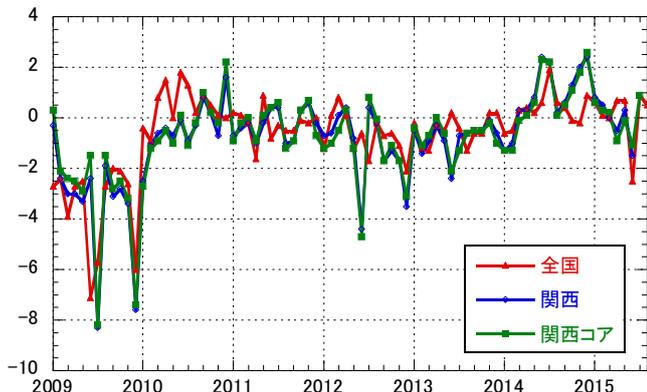
【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

6月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は42万5,967円で前年同月比-1.5%と2カ月ぶりのマイナス(前月:同+0.3%)。府県別では、兵庫県のみ同+0.1%(5カ月ぶりのプラス)。一方、奈良県が同-6.0%(5カ月ぶり)、和歌山県が同-3.8%(12カ月ぶり)、京都府が同-2.9%(2カ月ぶり)、滋賀県が同-2.6%(2カ月連続)、大阪府は同-1.2%(10カ月ぶり)のマイナスであった。

京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR推計)は7月に前年同月比+0.9%となり、4カ月ぶりのプラスとなったものの、今後賃金回復の動きが定着するか見極めが難しい。

現金給与総額(前年同月比：％、2015年8月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

全国(速報値)の現金給与総額をみると、8月は前年同月比+0.5%と2カ月連続のプラス。内訳をみると、所定内給与は同+0.5%と前月(同+0.4%)から若干加速(6カ月連続のプラス)。所定外給与は同+1.5%と2カ月連続の上昇(前月：同+0.7%)。特別給与は同+0.6%と2カ月連続のプラス(前月：同+1.7%)。残業代など所定外給与の伸び率が大きかった。

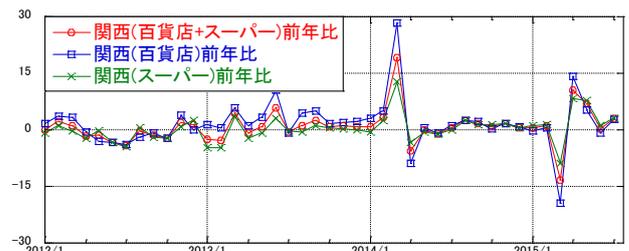
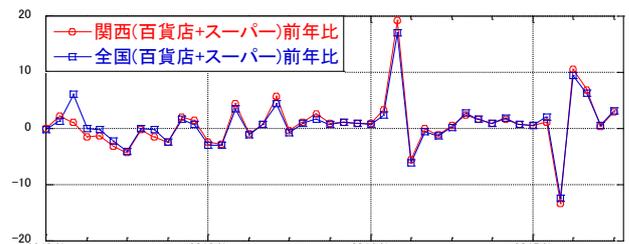
現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+0.2%と2013年4月以来のプラス転換となった前月に続き、2カ月連続のプラス。

(2) 大型小売店販売額

関西8月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+3.7%と5カ月連続のプラス。百貨店は同+3.9%と2カ月連続のプラス。スーパーは同+3.7%と5カ月連続のプラス。

全国8月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+2.6%と5カ月連続のプラスとなっている。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2015年8月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動向統計」

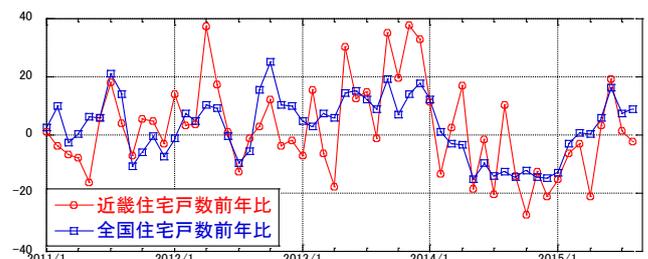
(3) 新設住宅着工の動向

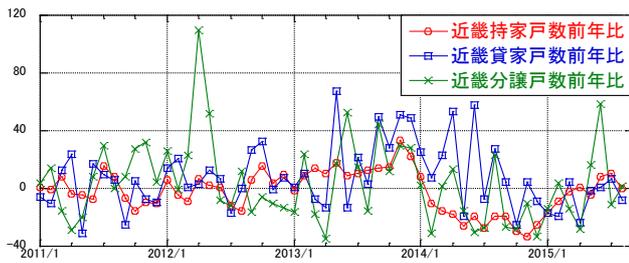
関西8月の新設住宅着工戸数は12,490戸。前年同月比-2.1%と4カ月ぶりのマイナス。全国は80,255戸と同+8.8%増加し、6カ月連続のプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は2,925戸。同+0.0%と横ばい。貸家は4,598戸、同-7.7%と3カ月ぶりのマイナス。分譲は4,883戸、同+1.8%増加し、2カ月ぶりのプラス。

9月の関西マンション契約率は69.3%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安となる70%を7カ月ぶりに下回った。首都圏は72.3%(季節調整値、APIR推計)となった。マンション契約率は、足下、大きく低下した。

新設住宅着工(前年同月比：％、2015年8月まで)





(出所) 国土交通省「住宅工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

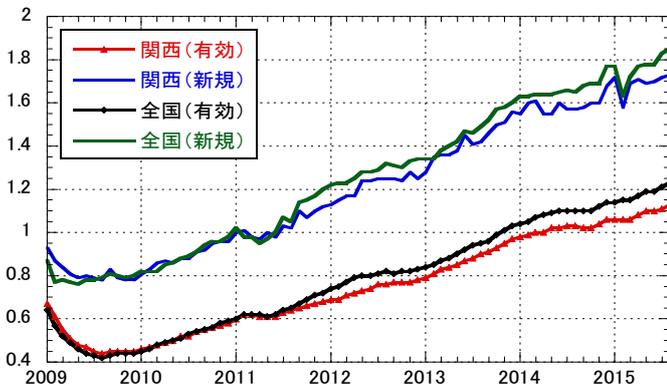
8月の関西の有効求人倍率は、1.13倍で前月比+0.02ポイント上昇し、2カ月連続の上昇。リーマンショック前の2007年6月に並ぶ高水準。全国は1.23倍で同+0.02ポイント上昇し、こちらも2カ月連続の上昇。1992年1月(1.25倍)以来の高水準となった。雇用情勢は堅調である。

府県別では、全ての府県で前月から上昇し、久方ぶりに1倍台を回復した。京都府・奈良県で前月比+0.03ポイント、大阪府・兵庫県・和歌山県は同+0.02ポイント、滋賀県では同+0.01ポイント上昇した。

8月の関西の新規求人倍率は、1.73倍と前月比+0.01ポイント上昇。全国は1.85倍と同+0.02ポイント上昇した。

大阪の産業別新規求人数は、宿泊・飲食サービス業で前年同月比+24.1%と2カ月連続の大幅プラス。また、医療・福祉、情報通信業、学術研究・専門技術サービスで増加。

有効求人倍率の推移 (季節調整値、2015年8月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2015年8月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
8月	1.23	1.13	1.06	1.18	1.22	1.00	1.06	1.05
7月	1.21	1.11	1.05	1.15	1.20	0.98	1.03	1.03

(2) 完全失業率の推移

8月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR 推計)は4.4%で前月(4.3%)から0.1%ポイント上昇し、5カ月連続の悪化。労働力人口(季節調整値)が増加していることから、新規求職の動きを反映したものとみられる。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR 推計)は45.7万人で前月(42.5万人)から3.2万人増加した。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.4%と前月から0.1%ポイント上昇した。完全失業者数(季節調整値)は224万人と前月比+4万人増加したが、求職理由別にみると、自発的な離職(自己都合)が増加していることから、背景には新規求職の動きがみられる。

15~64歳の就業率(原数値、全国ベース)をみると、73.3%となり、前年同月比+0.5%ポイント上昇。昨年の後半から高水準が続いている。

完全失業率の推移 (季節調整値: %、万人、2015年8月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

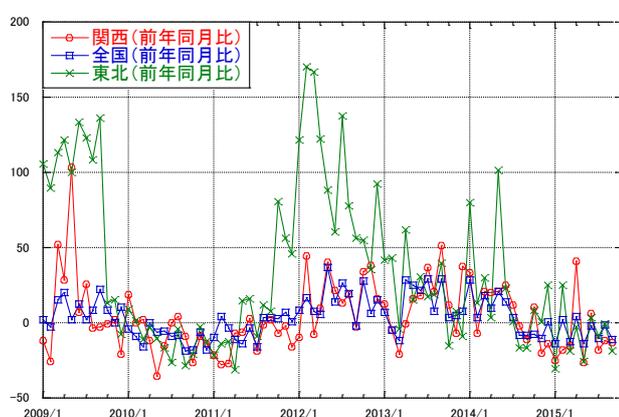
関西9月の公共工事請負金額は1,286億円で前年同月比-13.4%と3カ月連続で2桁のマイナスとなった。全国は1

兆2,461億円で同-10.9%と5カ月連続のマイナス。東北は1,873億円で同-19.0%と3カ月連続のマイナスとなった。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西、全国共に3カ月連続で前月から減少となった(関西：同-2.5%、全国：同-6.1%)。関西の7-9月期は前期比-24.1%と2期ぶりのマイナスとなった。

足下、前年比は大幅減となっただけでなく、季節調整値でも3カ月連続の低下となったことから、公共工事請負金額は本格的な減少トレンドに転じたと考えられる。

公共工事請負金額(前年同月比：%、2015年9月まで)



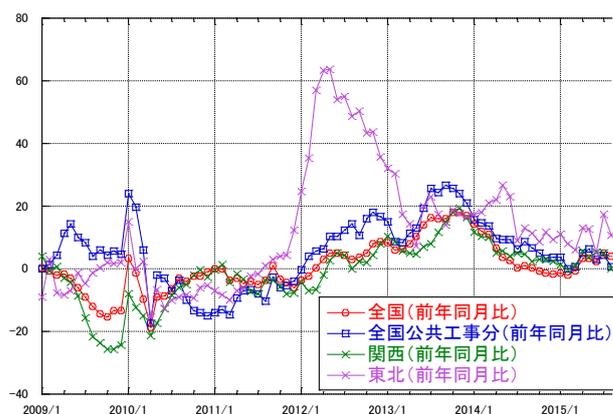
(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西8月の建設工事は5,074億円、前年同月比+0.2%と6カ月連続の増加も、伸びは微増となった。東北は5,722億円、同+10.7%と49カ月連続の増加。全国は4兆1,959億円となり、同+4.1%と5カ月連続の増加。うち、全国の公共工事は1兆7,173億円で同+0.8%と43カ月連続の増加も、伸びは17カ月連続で1桁にとどまった。

伸びはプラスを維持しているものの、公共工事の減速もあり、関西の建設工事動向は停滞が見られる。

建設工事(前年同月比：%、2015年8月まで)



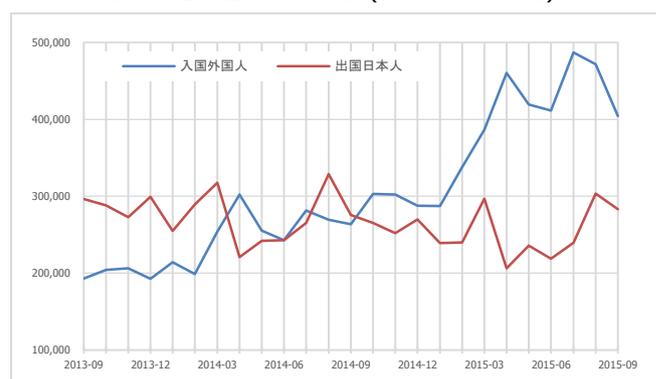
(出所) 国土交通省「建設総統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

9月の関空への訪日外客数は、最近の歴史的な水準からは幾分減少した。訪日外客数は40万4,430人、前年同月比+53.4%と32カ月連続の前年比プラスとなった。出国日本人数は28万3,010人(同+2.6%)と21カ月ぶりに前年同月比増加となった。外国人旅客総数(出国・入国含め)は78万100人(同+56.6%)と、9月として歴史的な水準となった。

訪日外客数と出国日本人数(2015年9月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

(2) 地域別訪日外客数

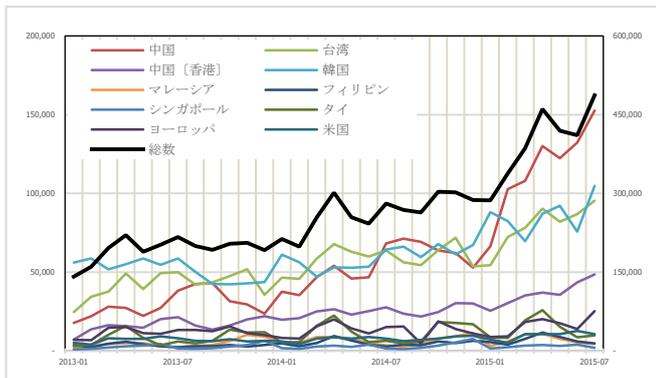
訪日外客数を地域別にみると、7月は中国(香港を除く)からの入国者数が15万2,485人(前年同月比+123.1%)と最も多かった。次いで、韓国が10万4,825人(同+62.7%)、

台湾が9万5,442人(同+49.5%)、中国(香港)が4万8,592人(同+74.5%)となった。中国、韓国、台湾、香港からの訪日外客数は歴史的な水準となった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイから9,928人(同+53.5%)。フィリピンからは4,808人(同+72.5%)、マレーシアからは4,487人(同+23.8%)、シンガポールからは2,095人(同+30.2%)となった。

他地域を見ると、ヨーロッパからは2万5,355人(同+66.5%)、歴史的な水準と10カ月連続のプラスになった。米国からは1万732人(同+36.4%)と11カ月連続のプラスであった。

地域別訪日外客数(2015年7月まで：人、右軸：総数、左軸：各国)

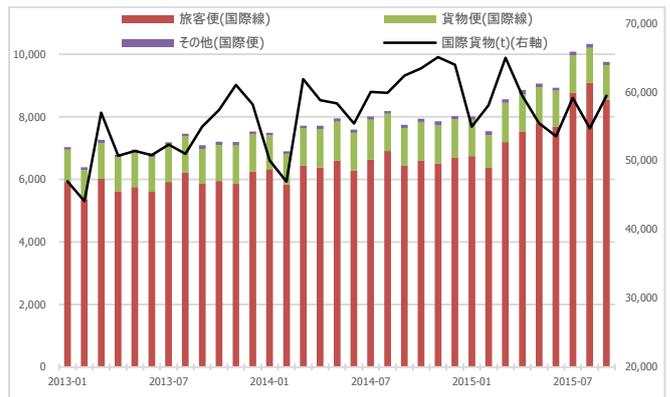


(出所) 法務省「出入国管理庁」

(3) 便数・貨物トレンド

訪日外客数の大幅増加と同時に、国際便数も増加している。9月の総合便数は9,764便で、前年同月比+26.0%、24ヶ月連続の増加、単月で見れば歴史的な水準となった。その内、国際線便数は8,556便(同+32.5%)、国際貨物便は1,103便(同-7.1%)、その他は105便で(同-3.7%)となった。一方、重量ベースでは、9月に国際線の貨物は59,435トンで、同-4.7%、5ヶ月連続の減少となった。

国際便数(左軸)・貨物(右軸)(2015年9月まで)



(出所) 新関西国際空港株式会社「運営概況ニュースリリース」

【中国景気モニター】

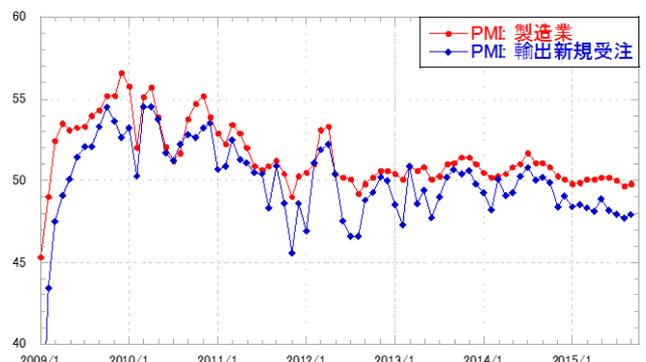
(1) センチメント

9月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は49.8となり、前月比+0.1ポイント上昇したが、2カ月連続で50を下回った。

うち、生産指数は同+0.6ポイント上昇し52.3となり、4カ月ぶりの上昇。新規受注指数は同+0.5ポイント上昇し50.2となり、4カ月ぶりのプラス。また、輸出新規受注指数は同+0.2ポイント上昇し47.9となったものの、12カ月連続で50を下回った。雇用指数は47.9となり、前月から横ばい。

PMIは前月から幾分上昇したが、依然として50を下回る水準が続いている。中国経済への下方圧力は今後も続くと思われる。

中国製造業購買担当者景況指数(2015年9月まで：%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

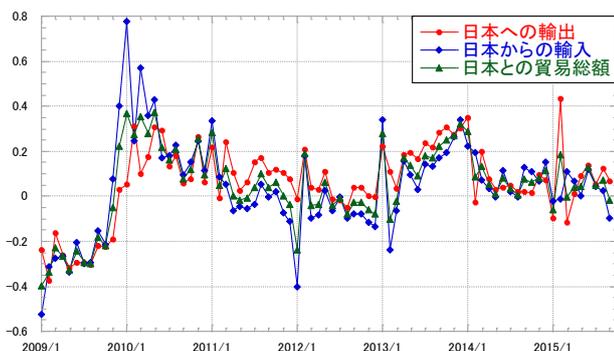
(2) 貿易動向

9月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比-3.8%と3カ月連続のマイナス。輸入額は同-20.5%(速報値)と内需の低迷を反映し11カ月連続のマイナス。減少幅は前月(同-13.9%)より拡大した。

うち、日本への輸出額は同-4.6%と7カ月連続のマイナス。日本からの輸入額は同-19.3%と11カ月連続のマイナスとなった。

円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+7.0%となり、6カ月連続のプラス。日本からの輸入額は同-9.4%、7カ月ぶりのマイナスとなった。

日本との貿易 (前年同月比：円ベース) (2015年9月まで：%)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	14/9M	14/10M	14/11M	14/12M	15/1M	15/2M	15/3M	15/4M	15/5M	15/6M	15/7M	15/8M	15/9M
景況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	49.4	47.0	45.4	47.6	47.8	53.3	54.6	54.9	53.1	53.3	52.4	51.4	50.5
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	50.2	45.9	43.2	48.2	47.4	52.3	54.1	55.0	53.4	53.6	51.2	50.4	50.8
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	51.5	50.0	48.2	48.6	51.6	55.5	55.5	56.1	53.7	54.2	52.6	47.3	49.9
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	47.4	44.0	41.5	45.2	45.6	50.1	52.2	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	46.7	42.3	39.5	44.2	43.9	48.4	50.9	53.2	53.6	50.4	50.8	48.8	49.1
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	48.7	46.6	44.0	46.7	50.0	53.2	53.4	54.2	54.5	53.5	51.9	48.2	47.0
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	39.6	38.8	36.8	38.3	38.5	39.3	41.0	40.8	40.7	41.2	40.8	41.7	40.2
[関西]暮らし向き(原数値)	36.9	36.6	34.8	36.0	35.8	37.1	38.5	38.2	37.7	38.9	38.7	40.4	38.6
[関西]収入の増え方(原数値)	38.0	38.4	36.6	36.6	37.5	37.2	38.7	38.0	39.2	39.4	39.6	39.7	38.9
[関西]雇用環境(原数値)	45.7	43.7	41.4	44.2	43.7	45.2	47.1	47.5	46.3	46.8	45.3	45.6	43.7
[関西]耐久消費財の買い時判断(原数値)	37.9	36.3	34.4	36.4	36.8	37.6	39.6	39.6	39.4	39.8	39.5	41.1	39.7
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	39.8	39.1	38.4	39.3	39.5	40.9	41.7	41.5	41.4	41.7	40.3	41.7	40.6
[関西]大型小売店販売額(10億円)	294.1	308.1	335.1	419.0	335.0	289.7	327.0	310.8	324.8	315.4	337.8	UN	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	1.6	1.0	1.6	0.7	0.6	1.1	-13.4	10.5	6.9	0.4	3.0	UN	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,531.3	1,606.5	1,728.6	2,155.4	1,722.7	1,498.6	1,715.0	1,608.0	1,692.8	1,641.2	1,705.7	UN	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	1.7	1.0	1.9	0.7	0.6	2.0	-12.3	9.5	6.3	0.6	3.2	UN	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	11,707.0	10,816.0	12,192.0	11,625.0	9,605.0	9,002.0	10,832.0	9,823.0	10,416.0	14,330.0	10,210.0	UN	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	-14.0	-27.3	-12.5	-21.1	-15.0	-6.2	-3.0	-20.9	3.2	19.2	1.7	UN	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	75,882.0	79,171.0	78,364.0	76,416.0	67,713.0	67,552.0	69,887.0	75,617.0	71,720.0	88,118.0	78,263.0	UN	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	-14.3	-12.3	-14.3	-14.7	-13.0	-3.1	0.7	0.4	5.8	16.3	7.4	UN	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	78.4	73.4	81.6	75.6	79.3	69.9	70.4	73.6	70.5	71.8	71.7	79.5	69.3
[関西]マンション契約率(原数値)	76.9	74.1	80.9	73.0	70.9	67.1	72.7	74.2	75.2	74.8	75.1	79.4	67.9
[全国]マンション契約率(季節調整値)	71.5	65.2	79.0	70.3	69.5	74.5	75.2	74.5	72.1	75.4	73.6	76.6	72.3
[全国]マンション契約率(原数値)	71.6	63.3	78.4	71.0	74.9	74.5	79.6	75.5	71.1	78.7	83.7	74.3	66.0
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	148.5	150.4	88.9	97.2	70.6	64.4	112.4	263.4	127.6	200.4	134.6	103.2	128.6
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-11.3	10.8	-20.0	-13.7	-25.1	-18.3	-14.9	40.9	-26.5	6.4	-18.2	-11.6	-13.4
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,398.4	1,316.1	843.7	894.4	670.8	712.2	1,275.5	1,836.1	1,129.4	1,556.4	1,463.2	1,113.2	1,246.1
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-8.2	-7.4	-10.4	1.0	-13.7	2.3	-12.4	4.4	-14.0	-1.8	-10.1	-1.3	-10.9
[関西]建設工事(総合、10億円)	534.1	556.5	587.8	609.6	600.8	584.1	573.7	467.9	494.5	487.0	500.3	UN	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	2.3	3.0	3.2	2.4	1.4	-0.2	1.0	5.8	3.8	5.4	5.2	UN	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,333.2	4,522.6	4,714.6	4,834.6	4,611.0	4,510.3	4,520.2	3,632.1	3,549.4	3,727.0	3,934.5	UN	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	0.3	-0.6	-1.4	-1.7	-1.3	-2.1	-0.7	3.4	3.3	2.5	5.2	UN	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,933.3	2,098.8	2,247.4	2,344.3	2,188.1	2,127.4	2,140.9	1,445.8	1,383.9	1,454.4	1,550.8	UN	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	6.7	5.1	3.5	3.7	3.6	0.2	0.8	4.9	6.4	3.1	4.4	UN	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	104.1	106.0	101.2	102.1	110.5	105.9	106.5	102.1	100.9	102.6	102.8	UN	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	5.3	1.8	-4.5	0.9	8.2	-4.2	0.6	-4.1	-1.2	1.7	0.2	UN	UN
[関西]出荷指数(原数値、前年同月比%)	6.6	5.2	-4.0	0.7	1.8	-0.7	0.3	-0.6	-5.1	-0.4	0.1	UN	UN
[関西]在庫指数(原数値、前年同月比%)	5.6	3.3	4.5	1.5	0.8	2.2	2.8	1.9	0.1	0.7	0.6	UN	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、10年=100)	106.5	105.3	100.7	101.3	109.0	103.6	102.9	100.7	98.8	100.0	100.5	UN	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、前月比)	7.4	1.3	-4.4	0.6	7.6	-5.0	-0.7	-2.1	-1.9	1.2	0.5	UN	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、10年=100)	120.0	117.0	117.1	116.4	116.2	117.4	116.5	116.7	116.9	117.6	119.0	UN	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、前月比)	0.2	-1.2	0.1	-0.6	-0.2	1.0	-0.8	0.2	0.2	0.6	1.2	UN	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	98.1	98.5	97.9	98.1	102.1	98.9	98.1	99.3	97.2	98.3	97.5	UN	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	1.4	0.4	-0.6	0.2	4.1	-3.1	-0.8	1.2	-2.1	1.1	-0.8	UN	UN
[全国]出荷指数(原数値、前年同月比%)	1.7	-0.6	-4.8	-0.1	-2.1	-2.9	-2.3	0.2	-3.2	1.8	-0.4	UN	UN
[全国]在庫指数(原数値、前年同月比%)	4.1	3.9	6.6	6.2	5.6	7.0	6.2	6.6	3.9	4.0	-0.8	UN	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、10年=100)	97.9	98.0	97.3	97.1	102.4	97.9	97.3	97.9	96.0	96.6	96.2	UN	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、前月比)	3.2	0.1	-0.7	-0.2	5.5	-4.4	-0.6	0.6	-1.9	0.6	-0.4	UN	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、10年=100)	111.3	111.2	112.4	112.3	111.8	113.0	113.4	113.8	112.9	114.6	113.7	UN	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.4	-0.1	1.1	-0.1	-0.4	1.1	0.4	0.4	-0.8	1.5	-0.8	UN	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	0.6	1.3	2.0	2.4	0.8	0.5	0.0	-0.5	0.3	-1.5	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	0.5	1.1	1.8	2.6	0.6	0.3	0.2	-0.9	-0.1	-1.1	0.9	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.4	-0.1	-0.2	0.9	0.6	0.1	0.0	0.7	0.7	-2.5	0.9	0.5	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.2	4.1	3.8	3.7	4.0	3.8	3.3	3.5	3.8	4.1	4.3	4.4	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.1	4.3	3.6	3.4	4.2	4.0	3.6	3.5	3.7	3.9	4.3	4.4	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.6	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.58	1.60	1.60	1.68	1.72	1.58	1.69	1.71	1.69	1.70	1.72	1.73	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.68	1.69	1.69	1.77	1.77	1.63	1.72	1.77	1.78	1.78	1.83	1.85	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.02	1.02	1.04	1.06	1.06	1.06	1.06	1.08	1.10	1.10	1.11	1.13	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.10	1.10	1.12	1.14	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19	1.21	1.23	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-67.2	2.3	-22.2	50.2	-76.0	-37.6	201.1	114.9	108.8	134.0	7.8	66.1	129.0
[関西]輸出(10億円)	1,348.5	1,425.2	1,322.6	1,500.7	1,304.8	1,242.4	1,459.2	1,382.7	1,264.3	1,383.4	1,374.6	1,299.4	1,386.6
[関西]輸出(前年同月比%)	7.5	10.9	6.5	14.7	20.0	2.5	7.9	5.3	2.7	7.3	4.9	2.0	2.8
[関西]輸入(10億円)	1,415.7	1,422.8	1,344.8	1,450.5	1,380.8	1,280.0	1,258.1	1,267.8	1,155.5	1,249.4	1,366.8	1,233.3	1,257.7
[関西]輸入(前年同月比%)	9.9	1.8	-0.3	4.7	-10.9	10.2	-14.1	-4.2	-8.2	-4.8	-0.5	0.3	-11.2

注：鉱工業生産 輸送機械工業は船舶・鉄道車両除く。

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
28-Sep	29-Sep	30-Sep	1-Oct 中国製造業 PMI (9月)	2-Oct
5-Oct 毎月勤労統計 (8月:速報値)	6-Oct	7-Oct	8-Oct 景気ウォッチャー調査 (9月)	9-Oct 近畿鉱工業生産指数 (8月速報) 近畿貿易統計 (7月確報) 近畿貿易統計 (8月確速)
12-Oct	13-Oct 中国輸出入 (9月:速報値) 消費動向調査(9月)	14-Oct 商業動態調査 (8月:速報値)	15-Oct 公共工事前払保証額 統計(9月) 全国鉱工業生産指数 (8月:速報値) マンション契約率 (9月)	16-Oct 建設総合統計(8月)
19-Oct 中国工業生産(9月) 中国固定資産投資 (9月) 中国消費小売総額 (9月) 7-9月期中国 GDP	20-Oct	21-Oct 全国貿易統計 (9月:速報) 近畿貿易統計 (9月速報)	22-Oct 毎月勤労統計 (8月:速報値)	23-Oct
26-Oct 近畿鉱工業生産指数 (8月速報)	27-Oct 7-9月期中国 求人倍率	28-Oct 商業動態調査 (9月:速報値)	29-Oct 全国貿易統計 (9月:速速) 全国鉱工業生産指数 (9月:速報値)	30-Oct 求人倍率(9月) 完全失業率(9月) 新設住宅着工(9月)